



府連通信

2024年9月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

第2回 日中をつなぐ文化のつどい 11月に開催決まる

2022年12月25日に、国交正常化50周年記念「日中をつなぐ文化のつどい」をコロナ禍の中開催しました。
 第2回を11月3日(日)12時からエル・おおさか南館5階ホールで開催します。今回も舞台表演と展示の2本立てです。
 9月1日現在、予定されているのは、大阪西支部が漢詩朗読、城北支部が中国語の歌、中河内支部は楽器演奏、富田林支部はプロモーションビデオとコスプレ、堺支部はモンゴル旅行報告と歌、太極拳の表演や中国語受講生による合唱。女性部は寸劇を準備しています。
 ゲスト参加で、帰国者センターの皆さんの広場踊りと、ブルーシアターのマギーまもるさんが出演されます。
 展示は支部活動の取り組み報告で、西支部の「きりえ」、中河内支部の「万人坑」など。
 参加協力券は500円です。



長谷川テルゆかりの 奈良・般若寺を訪ねるミニツアー 10月10日(木)雨天決行
 近鉄奈良駅西改札 午前10時20分 定員:15名(先着順)
 参加費:1000円 (拝観料700円、資料代)
 行程 近鉄奈良駅(路線バス)→般若寺「テル訪問記念の碑」→般若寺境内自由散策→近鉄奈良駅:昼食
 申し込みはお名前・所属・当日連絡先・昼食の希望の有無をお知らせください。・大阪府連:06-6372-8131
 =主催:大阪府連女性部=

城北支部「納涼のつどい」を開催

8月24日(土) 茹(うだ)る猛暑の中、結成5周年を迎えた日中友好協会大阪城北支部の「納涼のつどい」が中央区谷町の「中国料理 興隆園」で開かれました。
 支部活動の中で会員拡大70名の目標を掲げて役員を中心に精力的に取り組む目標達成に至りました。
 つどいには、山本恒人大阪府連会長をはじめ新会員4名も参加し17名が集い、美味しい料理に酒、楽しい会話で会場も和み、参加者各人の自己紹介と抱負を述べ運動への力となることを確認しました。
 山本恒人会長のあいさつで近況の中国を取り巻く情勢を解説され、米国に追いつくアジアの



料理と飲み物でおなかも満たされ、余興のお披露目となり西脇さん達の中国語の歌「月亮代表我的心」森脇さんの時事ネタを読んだ川柳、山本会長と柳が韓国語で「イムジン河」を熱唱、松本さんが用意した歌を全員で合唱し盛り上りました。
 暴力と戦争が齎す(もたら)破壊と絶望、憎悪からは何も生まれ、対話と友好が最も大事である。(柳)

堺平和のための戦争展に出展

「輝け憲法みんなで平和のバトンうけつこう」堺平和のための戦争展は、8月3日と4日サンスクエア堺で開催されました。
 大阪府連は今年も長谷川テル展示を第4会議室で行ない、同時に日中友好協会の新聞、署名、百科検定等を大いに宣伝しました。
 テル遺児暁子さんが最近まで市内新金岡に住んでおられましたと教えますと多くの方がビックリされ熱心に耳を傾けていただきました。小学生連れのお母さんたちも、女性として当時中国本土で反戦平和訴えたことに感心され、小学生も神妙な顔をしていました。
 経済に熱い現在の日中、それに伴い中国留学も増えている、そこに歴史教育をしつかりしていない日本、日中双方の学生がおかしいと声をあげていきますと教えていただき、テルさんは日本の一片の良心ですと言っていたことができました。以前にくらべ話をよく聞いてくれ、事前に学習しています。うれしいことにブックレットが10部も売れました。
 (平松悦雄)



吹田市の中学歴史教科書の採択 政府から介入が強まっている

吹田市では中学歴史の教科書は東京書籍版に決まりました。パブコメは自由社、育鵬社、令和書籍を使わせたくないというものが多数で、その理由が教科書の記述を示し説明されていました。一方この3社を採用したいという理由は「支持する」「神話を教えないから若者が荒れる」という抽象的なものでした。「日本はすごい国だということ教えるのだ」と書くわけにもいかないでしょう。
 (令和書籍『国史』では「散華(サンゲ)」と表現しています)
 教育委員は人権、憲法、領土、南京事件、
 天皇制などについてどう記載されているかと質問し、「歴史はこれが真実と言えないことが多い」としきりに言っていました。あの場ではそうなるのかと思いましたが、「かたよりは控える」とし、
 1965〜97年にかけての「家永教科書裁判」で、家永氏は「国民は戦争について真相を十分に知ることができず、無謀な戦争に協力するほかならない状態に置かれた」と書きまします。政府は「無謀」は歴史的評価が定まっていらないから削れ」と反論します。家永氏は「戦争を暗く書く」という文部省の要求は、私に大きな衝撃を与えました」と言います。
 その後の経過は、1995年(戦後50年)村山談話「植民地支配と侵略によって、多くの国々とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました」2015年(戦後70年)安倍談話「西洋諸国の植民地支配の波は:日本にとって、近代化の原動力となった。:日露戦争は、植民地支配のもとにあった、多くのアジアやアフリカの人々を勇気づけました。」
 今、政府から教科書への介入が強まっています。音楽の教科書(3年間で3冊)の各最終ページには「君が代」との丸を見つめるスポーツ選手の写真が掲載され、こう記載されます。「日本がいつまでも平和で栄えるようにとの願いがこめられています」と。(高田佳誉子)



行事案内

女性部学習会
 中国世界遺産 第4回
 9月15日1時半
 府連教室

陳式太極拳講習会
 第5期 第5回
 9月15日(日) 3時
 大阪北スポーツ体育館

漢詩講座 陶淵明
 下定雅弘講師
 日本杜甫学会前会長
 後期は9月23日から
 国労大阪会館

戦争はいやや
 西区平和展
 9月22日11時から
 西区民センター
 地下鉄「西長堀」下車

(高田佳誉子)

